

基本施策評価表

上下水道ビジョン基本方向	4-3	経営健全化の方針
--------------	-----	----------

基本施策	1	使用料の適正化
------	---	---------

基本施策目標
適正な原価計算に基づく使用料設定が行えるよう取り組んでいくとともに、対象経費の削減による原価の抑制や水洗化率の向上による増収にも努めます。

課題名	計画主要施策の概要・取り組み目標	H25年度 実績(成果)	評価
1 使用料の適正化	<p>〔概要〕 適正な原価計算に基づく下水道使用料の設定を行う。</p> <p>〔目標〕 適正な原価計算に基づく使用料設定が行えるよう取り組んでいくとともに、対象経費の削減による原価の抑制や水洗化率の向上による増収にも努める。</p>	平成25年10月に下水道使用料の10%増額改定を行った。	S

基本施策 総合評価	S
-----------	----------

<p>評価結果の説明等</p> <p>料金改定に伴い、平成24年度決算の使用料収入と比較して(222,000千円)の増収となったことから評価をSとした。</p>

<p>今後の取り組みの方向性・展開方針</p> <p>経営基盤の根幹をなす下水道使用料が、節水型社会への転換や今後の人口推移の減少予測などにより飛躍的な伸びが期待できないことから、水洗化改造率の向上などによる収入増を図るとともに、より一層の経費の節減に努める。</p>
